



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

特集 道本部第50回定期大会

お互いの『英知』結集しよう

道本部は9月29日、30日の両日、ホールスター札幌で自治労北海道第50回定期大会を開き、2010年度の運動方針と新役員体制を決定した。2日間、全道から589人(うち女性66人、11.2%)が参加した。

本大会は、政権交代後初の定期大会で、節目の50回大会。三浦委員長はいささつで、「民主党庄勝、鳩山政権誕生は、組合員の皆さんのご努力、



本大会は例年より多い35人から発言があった=9月30日、ホールスター札幌

道本部第50回大会が終了した。「政権交代後の…」節目の50回大会の言葉が多くの心から飛び交った。大会は50回目だが、道本部は結成47年。間に臨時大会が含まれるからだ。開会中、杉谷副委員長が説明を加えた。道本部は19

朝風

62年(昭和37年)に33、700人の組合員数で始まったが、現在は減少傾向だ。正職員が減り非正規職員が増えているのに、やらなければならない仕事は減らない。連携した取り組みが急務だ。

ご支援のたまもの、ともに皆さんと喜びあいたい」と、お礼を述べた。しかし、具体的政策課題実現に向けては、「新政権に大いに期待しつつも、労働組合と政党の違いをふまえた対応と働きかけをしていく」と強調した。その上で、「来夏の参議院議員選挙は、民主党中心の連立政権の基盤確立する極めて大事なたたかいと位置づけている。『えさぎ たかし』さんの勝利に向けて総力をあ

げ、参議選を勝利し、翌年の統一自治体選・北海道知事奪還につなげよう」と訴え、「大胆かつ効果的な闘いを進めるためにお互いの英知を結集しよう」と呼びかけた。

本大会で新たに、札幌パーク・ユニオンが加盟した。また、2009年度の経過報告、当面の闘争方針を含む2010年度の活動方針が提案され、35人の参加者から入

事院勧告に係わる住居手当、憲法・平和問題、組織強化、政権交代後の対応などについて発言が集中した。また、病院職場からは、看護協会で行った過労死の実態調査について触れ、看護師の人員不足による過酷な夜勤の実態や、長時間労働で人の命を守る立場の人が安心して健康で働き続けられない実態についての発言があった。これらの問

北海道人事委員会勧告=「独自削減」停止に至らず



勧告にむけた要請署名は短期間に2万筆以上を集約した。人事委員会に手渡す出村議長=10月5日

北海道人事委員会は10月9日、道議会と知事に対して月例給△0.23%、期末・勤勉手当は△0.3%、自宅に係る住居手当(月2500円)の廃止、労基法改正をふまえた超過勤務手当で支給割合の引き上げなどについて勧告および報告を行った。独自削減措置の取扱いについては、実態を配慮すべきしながら停止勧告には至らなかった。地公三者(自治労道本部・全道庁・北教組)は、これに抗議し、11月17日の確定闘争場に向けて取り組みを強化する。

本号の紙面

- 1~3面 第50回大会特集
- 4~5面 写真・まんが・機関紙コンクール審査発表
- 6面 事前会議・評議会報告
- 7面 アクティブコース
- 8面 全国バレー
- 2010年道本部執行体制

国政報告



逢坂 誠二 衆議院議員

今回の選挙で大勝利をおさめることができたことに心から感謝。北海道から、首相・議長を選出でき、大きな意味

を持つ。民主党はこの勝利に満足することなく、政権公約実現にむけ気を引き締めて取り組まなければならない。官僚主導の政治から変わった事を実感している。国と地方の協議の場をしっかり持つよう取り組みたい。



仲野 博子 衆議院議員

小選挙区で勝てなかったことを申し訳なく思っている。みなさんの新政権に対する期待の大きさを感じている。私自身、地元

一次産業と、鳩山総理大臣も、自身で解決したいと話している北方領土問題の解決に尽力したい。三位一体改革を廃止し、地方の声をしっかり国政に届け、市民・働く者が主人公の政治を実現するために頑張る。



峰崎 直樹 参議院議員

今回の政権交代により、鳩山総理大臣、横路参議院議長という三種の内の2人が北海道から選出された。私も財務副大臣として消費者、労働者

の立場での税制を進めていく決意。国民も「これが政権交代か」と、実感していると思う。財源の問題などを抱えているが、生活者の立場、労働者の立場の政治を進めるのが、鳩山内閣のなすべきことである。



相原 久美子 参議院議員

07年、逆転の夏から始まった、こんな政治はもうやめようという世論が今回の結果となったが、民主党は今後の政治・政策が問われる。地域で公共サービスを担う自治労

の役割が重要であり、自治労の運動が試される。自治労は望むべき社会のあり方を議論してきたが、今後とも地域のリーダーでなければならぬ。07年、57万7千票を得たように、『えさぎたかし』さんにもその力を結集して頂きたい。



新委員長・山上 潔

みなさんの圧倒的な賛同で新執行部が誕生することに感謝します。また、退任役員の方々に大変ご苦労さまでした。この2日間、35人の発言で補強していただいた。政権交代後の労働運

動、自治労運動は初めての経験だが、慎重かつ大胆に進めていく。我々がつくった政権だから支えていくのは当然。時には対立することもあるだろうが、臆せず、自己主張をすることが大事だ。組合員・家族の信頼を得るためには、言うべきことは言い、議論し判断する姿勢を持ち続け、一定の納得性と今後の展望を切り開いていく。政権交代での考え方を整理し、今後の運動で、世の中を変え、職場を変え、地域を変えていく。多くの課題を新執行部として受け止め、今後の運動に活かし、全道の仲間

の先頭に立って奮闘していく。

山上新委員長あいさつ

みなさんの圧倒的な賛同で新執行部が誕生することに感謝します。また、退任役員の方々に大変ご苦労さまでした。この2日間、35人の発言で補強していただいた。政権交代後の労働運

動、自治労運動は初めての経験だが、慎重かつ大胆に進めていく。我々がつくった政権だから支えていくのは当然。時には対立することもあるだろうが、臆せず、自己主張をすることが大事だ。組合員・家族の信頼を得るためには、言うべきことは言い、議論し判断する姿勢を持ち続け、一定の納得性と今後の展望を切り開いていく。政権交代での考え方を整理し、今後の運動で、世の中を変え、職場を変え、地域を変えていく。多くの課題を新執行部として受け止め、今後の運動に活かし、全道の仲間

ともに先へ、先へ。えさぎたかし

来年の7月参議院議員選挙に立候補する『えさぎたかし』です。全国各地で、国策に翻弄され続け

現場にならなければ。私たちに、公共サービス、地域主権の現場がある。だからその力を発揮しなければならぬ。山積する課題について、相原参議院議員とともに、政策に私たちの思いが反映できるように国政の場ですっかりたたかていきたい。比例代表は名前を書く選挙。ぜひ、『えさぎたかし』の名前を覚えてほしい。また、10月からは始める単組回りは北海道から。次は単組で会えることを楽しみにしている。

※スケジュールは7面をご覧ください。

開会あいさつ・三浦委員長

大胆かつ効率的な運動を

解散総選 立していくことが求められている。自治体財政問題について夕張に限らず自治体財政が厳しい状況。地域主権の確立、安心して働き続けられる自治体づくりを強化する。来年の参議院選で、「えさきたか」しさんが組織候補として確認された。相原久美子を超える得票をお願する。財政的にも厳しい状況だが、運動を停滞させてはならない。大胆かつ、効率的な運動を全道で展開していただきたい。

経過報告にかかわる発言

夕張への支援に感謝。由仁町職員の脱退問題で、脱退を回避することはできなかった。組合員が間違っていた報告が先導されていことは、非常に残念であり責任を痛感する。今後も自治労復帰に向け近隣市組とともに、地本方自治を確立していく。

議長団



スムーズに議事を進めていただいた議長団。左から、滝川市職労・前田田さん、天塩町職・高野さん、全道庁労連札幌総支部・星さんお疲れさまでした。

自治労の発言力高めよう

方針への発言

市民アンケートで市民が納得の計画をする。地域に根ざした自治労運動という視点からみると、政策課題をすすめる中で、大学など共同・連携した活動も必要だと感じている。選挙闘争での勝利は非常に心強い。



日高は日本最大の馬産地、赤字決算が続き、地域経済に大きな影響を与えている。民主党のマニフェストについて、不安を抱く組合員も少なくないため説明が必要。迅速な情報発信を。

めざせ「労働二権」獲得

報告に対する道本部答弁

ええ。必ず復帰する時が来ると思え、諦めずに関わりを持っていく。空知地方本部の献身的な取り組みに敬意を表す。市庁長選挙は僅差ではあるが大きな勝利だ。問題は街に元気をどう取り戻すか。厳しい情勢の中だが、道本部も一緒に取り組みを進めていく。

評議会の発言

絵巻を単独日程で初め開催した。日程設定や参加単組数の課題は残るが、これをテコに民間協会の求心力を強めていきたい。公共サービスに従事する労働者のセーフティネットの構築に向けて議論を道本部から発信していきたい。

連合・平和運動フォーラムと結集したかき、進めることを意思統一している。脱原発・自衛隊の海外派兵など、しっかりと対峙していく。協力国会議員団が23人に。政権交代の中でしっかりと意見反映できる状況をつくって行きたい。

選挙闘争全体の総括として単組間の格差が今後の反省と課題となった。スポーツ大会について、少人数で参加できる新たなスポーツ交流の検討を引き続き、中央本部を含め、新たな政権となつた民主党への対応を。憲法改正議論が一層活発化することが予想されている。政権交代したからといって安心できる国への動きに対し、しっかりとものを言い、世界の平和を希求していく運動を。憲法改正議論が一層活発化することが予想されている。政権交代したからといって安心できる国への動きに対し、しっかりとものを言い、世界の平和を希求していく運動を。

新規加盟



札幌パークユニオン 札幌競馬場のパート従業員から組織されている組合です。開業期間の就労が保障されないなど、不安定な雇用状況にある。改善を求めともに頑張っていく。今後もご支援を。

道本部答弁



6月中央委員会の意見、総体的な組織・運動強化の視点で検討するが、運動の後退はさせないよう努力したい。非常勤職員へのアンケートを実施し、組織化に向けてひとつの足がかりを作った発言に敬意。組織されている仲間の賃金労働条件改善をめざすのは当然だが、組織されていない仲間の要求実現も組織化につながる。道政選挙も重要。来年の参議院選挙も同様、本道の民主化への重要なたたかいである。真の地方自治を築くためにたたかいを強化する。市庁長選挙など中間自治体選挙も含め、来夏参議院選挙まで勝利に向けて、単組地本・道本部一体でたたかう決意を固めたい。看護職場の厳しい実態。看護職場の厳しい実態。情報発信のあり方、ポイントをはり、工夫しながらホームページなどを活用していきたい。

自治体病院の医師、看護師不足等が過重労働となっている。地域医療を守るため、自治体病院の存続運動を継続していく必要がある。道本部としても財政一辺倒の見方ははなす必要など、現場を配置し、現場を中心とした指導体制の強化を願う。指定管理者制度自体の廃止、改革を中央本部とともに進めてもらいたい。

「任用替え」は認めないが、考えは変わらない。今後、強まること想定される。受け入れ側の職場も含め、全体の課題と対応を。技能労働職賃金問題についても今後一般職にも波及する。現業企業一闘争についても全体での取り組みを。春闘から「まずは自分たちの不満・不安を声に出さなければ」と。と提起し、取り組みを通じて青年の意識の変化が生まれていく。地本、道本部を合わせた取り組みを願う。

男女平等は進んでいない。政策にも取り組むべき。8割の中小企業に評価制度が入っていない。人材の育成という意味での評価制度を方針とすべき。労働三権すべての獲得が目標。協約締結は、まず第一歩。組合員のみならずと認識の共有を。あいつり取り組みを進める。叱咤激励をいただきます。中央本部としての役割を果かりと意見反映できる状況をつくって行きたい。労働三権すべての獲得が目標。協約締結は、まず第一歩。組合員のみならずと認識の共有を。あいつり取り組みを進める。叱咤激励をいただきます。中央本部としての役割を果かりと意見反映できる状況をつくって行きたい。

住居手当、市町村は全国的にどうするの、今後、統一した取り組みが必要。民主党の最賃1000円が実現された場合、委託費をどうするか。結果的に首切り増大になれば民主党にとってメリットがある。持家手当廃止の勧告は残念だが、地公におけるたかいたか足がかりを積極的な総務省道対策を願う。地本再編は、一定受け止めざるを得ない。

部認識・対応の甘さがあったこと否めない。総力4級5級の構成人数が多いとする指摘には、対策をとる。協約締結付与と交渉力強化については、強い交渉力と影響力を持つ事は充分認識している。住居手当については、総務省は一律に廃止を求めたものではないことを理由に市町村の事情を認めさせながら対応する。石上企画総務部長 専任の複数配置は日常の議論を持ってもらい、そこから育成につながる。輪番制がいいのか。本道に現在のあり方が良いのか。その他地本の議論も参考に、議論いただきたい。

まんが

こ…こんはどこにまで?!



■大笑
「こ…こんどこにまで?!」
札幌市職 中 克尋さん



■もう少笑
「取扱注意薬品」
全道庁十勝総支部 吉住 教彦さん



ご応募に感謝

第42回を迎える道本部「写真・まんがコンクール」、2009「機関紙コンクール」に、今年も全道から応募をいただいた。まんがと機関紙は道本部執行部が、写真は、写真家の丸山義正さん(左写真手前)が審査した。丸山さんは、「質の高い作品が揃っている。私もこんな写真が撮ってみたい!」と講評した。



「宮島沼のマガン」
全道庁空知総支部 村上 和彦さん

■見ている人たちを入れて撮る発想が良かった。人影と飛んでいくマガンと夕日のバランスがいい。レンズがちょうどいい。



「落陽」
恵庭市職 水野 光代さん

■なかなか撮りたくても撮れない写真。影に写るカップルがとても効いている。



「ふーふー」
札幌市職連 高野 静美さん

■至近距離から店の中で撮った力作。子どもの真剣な表情がよかった。

■優秀賞(3点)



「今なき祖母と最後のひ孫」

■全体のまとまりがすばらしい。全体の明るさ、部屋の暗さ、花の色とのバランス、それと何より、郵便受との絶妙なバランスで右に出るものはない。ニクイほど良い!!

江別市職 坂口 文吾さん

コンクール審査発表

■最優秀賞(1点)

■佳作(5点)



「江別の顔・美原大橋」
江別市職 石川 陽子さん

■写真全体のバランスが良い。人がフレームの中に入れば、なおさらよかった。



「枯葉の中歩く」
江別市職 坂口 文吾さん

■落陽と影のバランスが良い。子どもの位置が絶妙。子どもの手から落ちていく枯葉が写っていればもっとよかった。



「夕焼けの綿菓子雲」
苫小牧市体育協会職員労組 浅田 幸広さん

■短い時間の中でしか撮れない写真。条件を待って写さないとなかなか撮れない力作。



「愛のトンネル」
恵庭市職 五東 建夫さん

■出口付近で撮ったもので、向こうからの光が効いている。人が歩いている動きのある写真。



「友情」
江別市職 吉田 晴香さん

■シルエットと色のバランスが良い。もう少し人物が近い写真だったらもっと良かった。

全道庁十勝総支部



■自主福祉の部(2点)

帯広市労連



「江別市職労」
江別市職



「市役所UNION青年部NEWS」
釧路市役所ユニオン青年部

■佳作(2点)



「空知地本ニュース」
空知地方本部



「WAO」
上川地本女性部

■優秀賞(2点)



「はぼろ」
羽幌町職

■題字「はぼろ」は、裏面で、すかしたようなイメージにしているユニークな機関紙。内容も毎回色々な工夫をしている。

■最優秀賞(1点)

2009 機関紙



1ドしてもらった。これから1年8月までは自治労から出された課題解決にむけ、統合準備委員会が発足する。非常に責任は重大である。スケールアップでお返しできるよう全力を傾注していく。



政権交代という歴史的な使命が達成された。地方の行政は、自民党政権によって壊滅状態。これをどのように回復する



全道33単会・1万6千人の会員がいる。現職組織からみれば小さな集まり



衆院選での民主党勝利に際し、北海道の中小零細企業の経営者から「民主党の勝利はうれしいが、時給千円は厳しい」



33年前、道本部の指導もあり、団結権を獲得するため組織を立ち上げた。今回最後のチャンスだと思っている。最低



全労済への移行については満場一致で採択していただきたい。緑愛病院は新たにセンターを開設



政権交代実現への、絶大なご尽力に、心から感謝する。民主党結党も北海道からであり、常に自治労が、中心的な役割を



総選挙勝利で、地方自治・地域主権の道筋が自



新政権に対し、緊急雇用対策など期待している。党と労働組合の違いをふまえながら、制度政策要求の中で言っていく



力強い自治労運動への結果に感謝する。現在は「転換の時」にある。政権交代はその一歩。社会のあらゆる面を転換させる

来賓あいさし

ていく運動が必要。そのなかでどのように新政権に立ち向かっていくかという課題もある。必ずしも一致しないものもある。めまぐるしく情勢は変わる。スピード感・責任感を持って諸課題に取り組んでいく。

お疲れさま
でした

退任役員

三浦委員長



石上企画総務部長



小倉山政治部長



表組織部長



渡邊青年部長



2010道本部大会 事前会議・各評議会報告

現業公企評議会

共通認識持てる情報発信を



大会前日に、初めての試みとして「2009現業公企統一闘争」に向け、現業評価委員会報告をうけ、活性化と職の確立への取り組みを再確認した。さらに、総意として、職種別分科会・本部との連携した取り組み・共通認識が持てる情報発信と学習などの課題が出された。課題解消とともに臨時・非常勤等職員や、公共サービスを担う仲間の労働条件の底上げと組織化へ向けた取り組みを推進する。

議長 湊修 (網走市労連)
事務局長 灰野由希子 (札幌市労)

社会福祉評議会

評議会運動の再構築にむけて



2011年を焦点とした、保育制 福祉関係職場の労働者の賃金と処遇改革・介護保険制度改革・社会福祉の改善に向け、運動を再構築していく。各取組を全体で確認した。道本部福祉集会(1月23日予定)における評議会運動の活性化と社会などを通じて、積極的に政策発信と意見反映を行い、福祉人材確保の一層の強化と、民間も含めた組織化を進めていく。

議長 野村裕司 (札幌市職連)
副議長 高橋真理子 (室蘭市職労)
稲田浩平 (全道庁胆振)
塚越寛 (浜頓別町職)
事務局長 野城執 (全道庁労連札幌)
事務局次長 中村健司 (道社協職組)
大谷英男 (札幌市職連)

衛生医療評議会

7項目の重要課題を強化



医療・介護・福祉を中心とした社会「評議会の組織強化と組合員の雇い入れの確保」を目的とした積極的な活動を展開することを、基本的目標として「公立病院改革対策と医療提供体制の充実強化」に向けた取り組みを強化し、自治労組織内比例区候補予定者の、えきたかし必勝に向けた取り組みを強める。

議長 阿部茂美 (旭川市病労)
副議長 長谷部修 (全道庁渡島)
柏原真 (全道庁労連札幌)
佐藤容子 (札幌病職労)
選考中
事務局長 小林一司 (苫小牧病職)
事務局次長 平野裕治 (十別市職労)
選考中

消防職員協議会

団結権獲得の実現めざして



総会冒頭に全道消防協会長から「政庁活動と団結権獲得に向けての権交代が実現し、我々の悲願である中長期課題の解決。未来への地盤固結権獲得」に歩近づいてきた。法め、さらには積算された賃金労働条件改正を、消防職員への団結権獲得等問題等に積極的に取り組み、来た得を実現する」と獲得目標を示され、道消防協成会から「北海道から運動展開を」と先頭をたって推進することを強調した。

議長 宮成隆弘 (北見消防協)
副議長 菊池聡 (音威子府消防協)
近江孝之 (小樽市行政研)
事務局長 鎌田常孝 (苫小牧市消防協)
事務局次長 国広秀樹 (苫小牧市消防協)
栗栖大 (函館市消防協)

女性部

男女平等社会の構築めざす



政権交代を新たなスタートに据え、政治闘争への結果と職場の改善え、今後一層政治の場へ意見反映し、必要不可欠。男女平等社会の構築していく。自治体職員としてよりよいのために、女性自らが声を出し、労働組合に結集し社会のしくみを変えて行く。組合のつながりを課題改善に活かし、一歩前に進んだ取り組みを行っていくことを全体で確認した。

議長 上高早苗 (占冠村職)
副議長 吉田美保 (喜茂別町職労)
副議長 戸村のぞ美 (中標津町労連)
書記長 蘇田友紀 (全道庁労連)
書記次長 白岩喜美 (安立町職)

青年部

「学習・交流・実践」を強化



仲間がどう思い、行動したいのをもとにたかたかことを確認した。「学習・交流・実践」で、安心して「道人事業委員会への要請行動」で生活して働けるために青年部「青年部統一要求書行動」(政治闘争)に結集し、あらゆる闘争を仲間の声などを取り組んだ。

議長 出された声を無駄にしないよう積極的に、仲間の所足を運ぶ単組・総支部が増えている。

議長 政権交代は実現したが、自らが声をたかたかなければ何も変わらないことを認識し、生活・職場実態から政治闘争を取り組んでいく。

議長 青年部長 牧野長武 (名寄市職労)
青年部副部長 中村達哉 (八雲町職労)
書記長 島島秀和 (全道庁渡島)

公共サービス民間労組協議会

全単組で要求書の提出実現めざす



地方財政危機を背景とした委託費で提出して、交渉を強化することを目的として、公共サービスなどの削減によって、公共サービス民間労働者の厳しい現状を憂えた。また、幹事会の機能化について議論を開始し、運動の前進を図り、昨年に引き続き、ブロック別の学習交流会を開催し、多くの組合員が参加できる運動をめざす。

議長 中村博行 (亀田清掃労組)
副議長 中村健治 (北海道社会福祉協議会職組)
菊地悟 (苫小牧振興公社労組)
千葉隆 (八雲厚生園労組)
加納達雄 (苫小牧社会福祉協議会労組)
事務局次長 大出彰良 (道本部)
事務局次長 松岡敏裕 (道本部)

臨時・非常勤等職員連絡会議

安定した雇用の継続めざす



臨時・非常勤等職員連絡会議で行政、地域公共サービスを確保するは、増え続ける非正規労働者の組織には、欠くことのできない存在となる。一方、臨時・非常勤等職員の法的あるいは行政上の位置づけが不明確で、不安定な雇用状態、業務に見合った処遇を受けていないのが実情である。

議長 高野美枝子 (全道庁上川)
副議長 増田光子 (札幌病職労)
東芳子 (札幌市労)
事務局次長 松本敦子 (札幌市職連)

第26回女子バレー全国優勝大会

札幌市職連V3ならず —準優勝—



負傷中の選手が多い中で決勝戦まで勝ち進んだ札幌市職連チーム

9月26日から28日、福島県「福島国体記念体育館」で第26回全日本自治体職員等女子バレーボール選手権全国優勝大会が開かれた。全国428チームで勝ち抜いた22チームが熱戦を繰り広げ、3連覇をめざした札幌市職連は、準優勝となった。



中川麻衣子選手

敢闘賞

1979年にはじまった本大会は、30周年の記念すべき大会。北海道地連は、2007年大会、2005年大会で連続優勝した札幌市職連チーム、2008年度全道大会で優勝した帯広市職連、本年度優勝の苫小牧市職連(初出場)の3チームが出場した。

決勝戦は、札幌市職連が北信地連・松本市職連と対戦し、2対0で松本市職連が20年ぶりに優勝。札幌市職連は惜しく



前同様ベスト4に進みながら、北海道対決でやぶれた帯広市職連チーム



初出場で頑張った苫小牧市職連チーム

初参加の苫小牧市職連は予選で大阪市職。敗者復活戦で藤枝市職連と対戦したが惜敗。決勝トーナメントへの進出はかなわなかった。また、帯広市職連は、ベスト4に進んだが、抽選で札幌市職連と同プロックとなったため、北海道対決になり2対0で札幌市職連が決勝戦に進出。決勝戦は、札幌市職連が北信地連・松本市職連と対戦し、2対0で松本市職連が20年ぶりに優勝。札幌市職連は惜しく



時間を決めて発表するグループワークは、ユニークな発想で盛り上がった

2日目は午後には、「発想の転換による運動の企画」で、レーベン企画・南雲聡樹さんによる講演とグループワークを行った。南雲さんは「正職員と非正規職員の数が逆転している職場がある。みなさんの職場をよく見つけ直してほしい」と述べ、臨時・非常勤職員と連携しなければ、この先自治体として疲弊が進んでしまつと話した。グループワークでは、「こんな町がつくれたら」をテーマにグループごとに出し合い、ユニークな発想で模造紙に書き込み発表した。南雲さんは「連休中にこのコースに参加して価値があったと思えるものにしてほしい」と呼び

19日の午前中は、「公開講座」として、2つの講演を行い100人を超える組合員と政治フォーラム会員が参加した。1つ目は、ファイナンシャルプランナーの須藤

アクティブコース2日目は公開講座

「巨さんが「自治労共済の優位性」をテーマに、社会保障を知った上での保険選びについて話した。「自治労共済は、利益を求めないことで、安い掛け金設定となり、みなさ

んの安心につながっている」と強調した。2つ目は、「政権交代・労働組合はどうする」と題し山口二郎北海道大学大学院教授が講演し、「政権が代わったが『1歩後

退2歩前進」。しっかり議員とのつながりを持ちながら、自治労としての政策の実現に向けて臨まなければならない」と話した。



好評だった山口二郎教授の講演

自治労北海道学校「アクティブコース」 連休に参加しても価値あった

9月18日から3日間、自治労会館と青年会館で、活動家の養成を目的とする自治労北海道学校「アクティブコース」を開き27人が参加した。1日目は開校式の後、大原元中央本部執行委員

長が「労働組合と自治労の社会的役割、補助賃金労働部長が「日本の労働者賃金の過去・現在」について講演し、谷川教育情宣部長が「道本部ホームページ」と道本部ネットについて説明した。

また、札幌市男女平等参画センターの講師を招き、ワークシートを使い女性への差別意識チェックをグループで学習し、「女性差別は根強い。職場でも話し合っしてほしい」と話した。この後、表組部長が「男女がともに担う第3次自治労北海道計画」を説明した。最終日は、木村副学校長

が、「自治労運動の現状と課題」について話した。その後、グループごとにこの3日間の学習・交流からどのように職場で実践をしていくかを話し合い、発表した。「何ごとも一人で抱え込まず、仲間と相談できる職場づくりを今後取り組みたい」などの意見が出された。

最後に、三浦学校長が修了証書を一人ひとりに手渡した上で、「政治について山口二郎教授の講演でも問題提起があった。新政権をしっかりと支えるためにも、来年の参議院選で、私たちが推せんする『えさきたかし』さんを圧倒的に支持しよう」と強調した。新規採用者の組織化について、「非常に難しい課題だが、今回学習したことを生かしながら、みんなで議論し自治労運動の前進へとつなげてほしい」と、3日間を振り返りあいさつした。

ヒロちゃんの国会だより

鳩山内閣が発足して1カ月が経過しましたが、早くも自民党政権時代とは異なる政治家主導の政治の片鱗が見えています。例えば、今までの部門会議に代

わって開催される政策会議では、副大臣、政務官が説明・回答するスタイルとなり、自分の言葉で話していたのが印象的でした。また、大臣が自ら先頭に立って

視察する姿勢が見えました。赤松農林水産大臣の築地市場視察や、前原国土交通大臣の八ツ場ダム、川辺川ダム視察など、大臣が就任直後に視察を行うなど、今までは

JICHIRO スケジュール

2009年10月	
24日(土)	道本部現業公企総決起集会
26日(月)	要求書一斉提出日
27日(火)	連合北海道第22回定期大会(～28日、札幌市)
2009年11月	
5日(休)	連合春闘討論集会(～6日、東京)
6日(金)	回答指定日
7日(土)	道本部障害労働者連絡会総会(札幌市)
10日(火)	道本部第4回執行委員会(札幌市)
14日(土)	道医療胆振地区医療ナースアクション(室蘭・登別)

道本部ホームページ
自治労北海道
組合員専用ページは

ユーザー名: hokkaido
パスワード: jichi2009

余話

現在、確定闘争オクル真つた。道本部は第1回執行委員会で、役職員の担当が決定した。決まる。しかし、日程によって、どの地本に行くのか直前に調整される。今年には石狩が担当で、千歳への列車に乗る瞬間、苦しい思いがよみがえってきた。昨年の確定オクルは留萌。発車10分ほど前に駅に着き改札に向かって案内を見ると、記憶していた時間と10分違う。えっ!? 全速力で走ってホームに駆け上がった。間

「新しい時代」とともに頑張ります！よろしくお願ひします

2010年度道本部執行体制

4役(企画会議)

執行委員長



山上 潔 (全道庁労連)

副執行委員長
自治労共済道支部事務局長



三浦 正一 (斜里町労連)

副執行委員長・総合政策局長
自治労共済道支部支部長



杉谷 光一 (留萌市労連)

書記長



川本 淳 (中川町職労)

企画総務局長



木村美智留 (全道庁労連)

副執行委員長
組織労働局長



藤盛 敏弘 (函館市職労)

財政局長



木村美智留 (全道庁労連)

組織労働局

賃金労働部長



榑部 浩二 (全道庁労連)

賃金労働部次長(書記)



小杉由美子

組織部長
(現業公企評担当)



灰野由希子 (札幌市労)

組織部次長(書記)



玉井 秀樹

選出中

厚生対策部長

長谷 陽子

組織部次長(書記)
(女性部)



高山 智子

組織部次長(書記)



大島 進

企画総務局

企画総務部長



大出 彰良 (名寄市職労)

青年部長



牧野 長武 (名寄市職労)

教育情宣部長



谷川 広美 (直属支部)

女性部長



上島 早苗 (占冠村職)

政治部長
(衛生医療評担当)



小林 一司 (苫小牧病職)

自治体政策部長



駒井 由美 (全道庁労連)

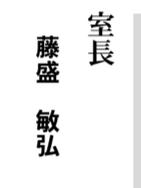
公共サービス政策部長
(社会福祉評担当)



野城 執 (全道庁労連)

組織拡大推進室

室長



藤盛 敏弘

次長



灰野由希子

自治体政策部次長(書記)
(政治部)



佐々木直人

企画総務部次長(書記)
(連合北海道派遣)



高田 将平

事務局長次長
選出中



吉田 雅人

事務局長
(組織拡大専門員)



松岡 敏裕 (石狩市職労)

総合政策局

事務局長次長



長谷 陽子 (幕別町職)

事業部長



渡部 裕幸

事業部副部長(書記)



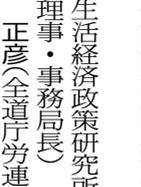
鈴木 知幸

事業部(臨時書記)



前田イク子

事業部副部長(書記)



門田 哲雄

事業部副部長(書記)



門田 哲雄

自治労共済北海道支部

管理部長



渡辺 隆

損害調査部長(書記)



門田 哲雄

管理副部長(書記)



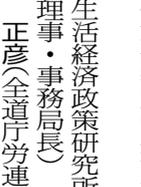
門田 哲雄

損害調査副部長(書記)



門田 哲雄

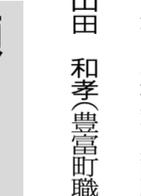
損害調査副部長(書記)



門田 哲雄

監査委員

蒲池 仁(全道庁労連)



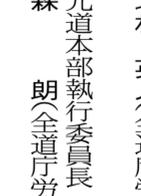
三橋 真樹(砂川市職労)

顧問



山田 和孝(豊富町職)

元衆議院議員



中澤 健次(夕張市職労)

元衆議院議員



中村 誠吾(小樽市職労)

元衆議院議員



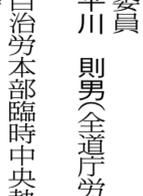
中村 誠吾(小樽市職労)

元衆議院議員



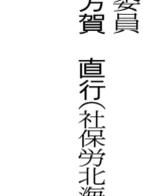
中村 誠吾(小樽市職労)

元衆議院議員



中村 誠吾(小樽市職労)

元衆議院議員



中村 誠吾(小樽市職労)

組織労働局

組織拡大推進室

総合研究室

財政局

特別執行委員

顧問

特別執行委員